

セコムパスポート for G-ID

証明書使用の手引き (行政書士電子証明書)

Version 2.55

Oct. 10 2025

セコムトラストシステムズ株式会社

版数	日付	内容
V1.00	2010/12/03	初版
V1.10	2011/01/27	赤枠の位置修正 “ご利用いただくお客様への注意事項”の修正 PIN コード入力の際の注意事項記載
V1.20	2011/03/31	電子申請用証明書の作成手順と証明書拡張子の変更手順の追記、FAQ と画像修正
V1.30	2011/06/17	証明書のダウンロード画面の画像修正
V1.40	2011/08/26	赤枠修正、セキュリティレベル画面の追加、拡張子変更操作手順の追加
V2.00	2013/03/18	図版の修正(Windows7、Internet Explorer9)
V2.10	2013/10/23	文言の修正(6.受領書の送付)
V2.20	2014/07/04	サポート対象環境修正
V2.30	2014/10/16	暗号アルゴリズム移行に伴う画像修正
V2.40	2016/09/29	サポート対象環境修正 図版、文言の修正
V2.50	2017/08/01	Windows Vista の文言削除 サポート対象の Internet Explorer のバージョンを 11 のみに変更
V2.51	2018/12/23	「8.サポートセンター」へ電話番号を追記 その他軽微な修正
V2.52	2020/01/10	図版の修正(Windows10、Internet Explorer11)
V2.53	2022/06/08	動作環境 OS・ブラウザの変更 図版、文言の修正
V2.54	2023/10/24	動作環境 OS・ブラウザの変更 「3 事前準備」「7 証明書のバックアップ」に申請用バックアップの手続きを追記 「5.1 証明書のインポートウィザードの開始」の PIN コード入力に関する注意事項を追記 図版、文言の修正
V2.55	2025/10/10	サポート対象環境修正、図版の変更

目次

1 概要	4
2 証明書のバックアップまでの流れ	5
3 事前準備	6
4 証明書のダウンロード	7
4.1 証明書のダウンロードサイトへのアクセス	7
4.2 証明書ファイルのダウンロード	8
5 証明書のインポート	9
5.1 証明書インポートウィザードの開始	9
5.2 証明書の情報確認	14
6 受領書の送付	18
7 証明書のバックアップ	19
8 サポートセンター	21
9 【付録 1】証明書の PIN コード(パスワード)を変更したい場合	22
9.1 証明書のエクスポート	22
9.2 拡張子の変更	27
9.3 証明書のインポート	30

1 概要

➤ 位置付け

証明書使用の手引き(以下、「本書」という)は、セコムパスポート for G-ID(以下、「本サービス」という)における、電子証明書(以下、「証明書」という)を使用する際の手順に関する文書です。

➤ 目的

本書は、本サービスで使用する証明書のダウンロードとインポート操作および内容確認の手順を明確にすることを目的としています。

➤ 適用範囲

本書は、本サービスの利用者を対象としています。

➤ 証明書インポート動作環境

本サービスでは、証明書のインポートについて、以下の環境をサポートの対象としています。

OS	ブラウザ
Windows 11	Microsoft Edge

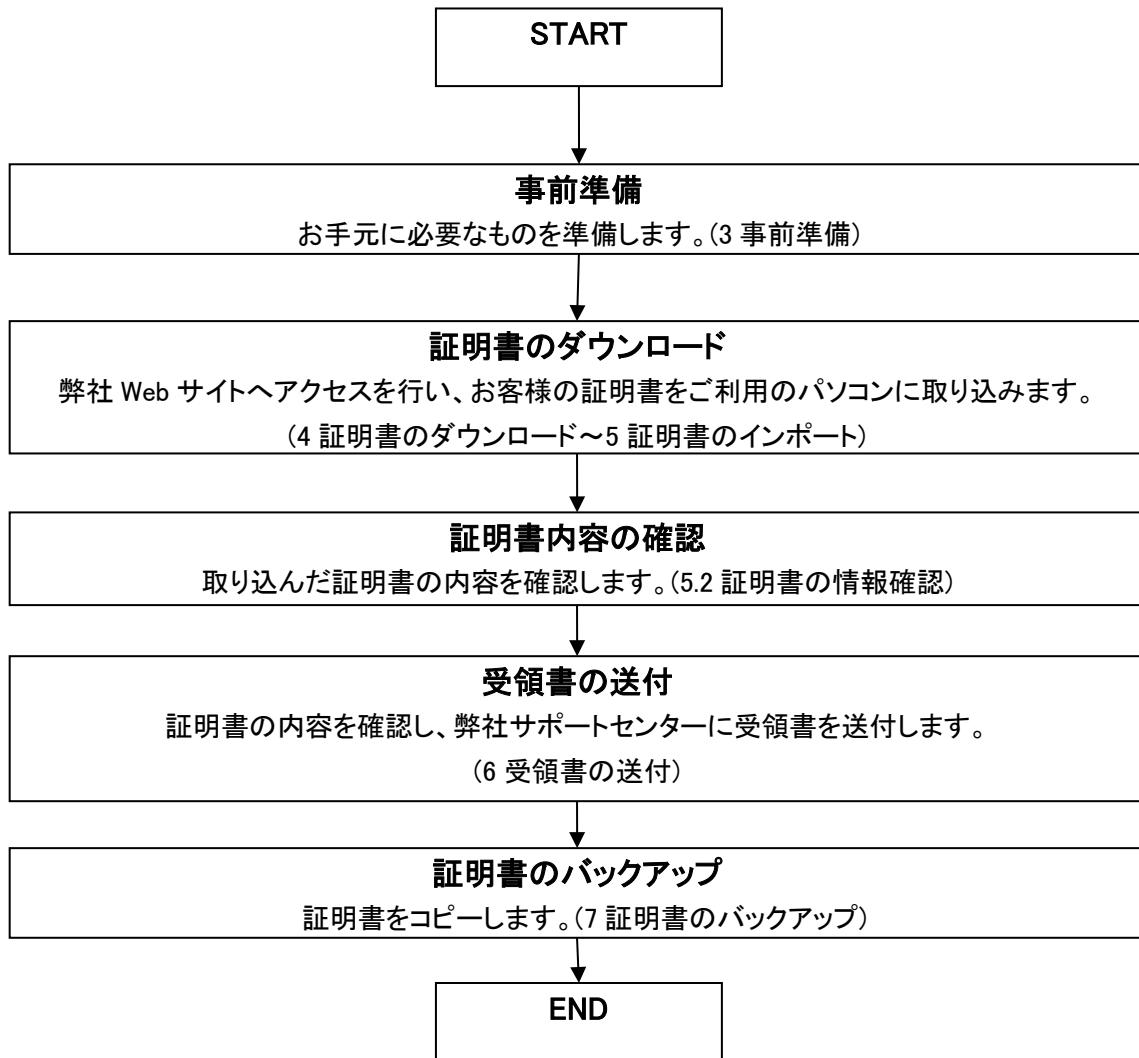
※ Microsoft のサポートが終了した OS、ブラウザについては、弊社サポートの対象外とさせていただきます。

※ ご申請先のシステムによっては、ご利用環境に制限がある場合がございます。

ご利用のパソコンの OS および保存媒体によっては本書の画面と異なる場合がありますのでご注意ください。

2 証明書のバックアップまでの流れ

以下の流れに沿って、「証明書のバックアップ」まで実施してください。



【ご注意ください】

- ・ 証明書ダウンロード URL ヘアクセスし、「ダウンロード」ボタンをクリックしてから、1 時間を経過しますと証明書のダウンロードができなくなります。
- ・ 「受領書の送付」は、証明書のダウンロードが終了し、証明書の内容を確認していただいたことを意味します。必ず証明書の内容確認後に実施ください。

3 事前準備

お手元に以下のものが揃っているかご確認ください。

◆ パスワード送付のお知らせ

代理受取人をご指定のお客様は、代理受取人様より本人限定受取郵便をお受取になり、ご確認ください。



◆ PINコード送付のお知らせ

本人限定受取郵便または簡易書留(代理受取人をご指定の場合)をご確認ください。



◆ 電子証明書ダウンロードURLのお知らせ(電子メール)

◆ USBメモリー等の外部記録媒体(2式)

パソコンの故障に備えて、ダウンロードした証明書「cert.p12」は、USBメモリー等の外部記録媒体にバックアップするようお願いします。

また、電子証明書を利用する手続きによっては、Windows証明書ストアにインポートした電子証明書ではなく、「cert.p12」を直接読みとる手続きがあります。「cert.p12」をパソコン上の覚えやすいフォルダーまたは、申請用のUSBメモリー等に移動しておくようにしてください。

◆ 電子申請に利用するパソコン(インターネットに接続可能なもの)

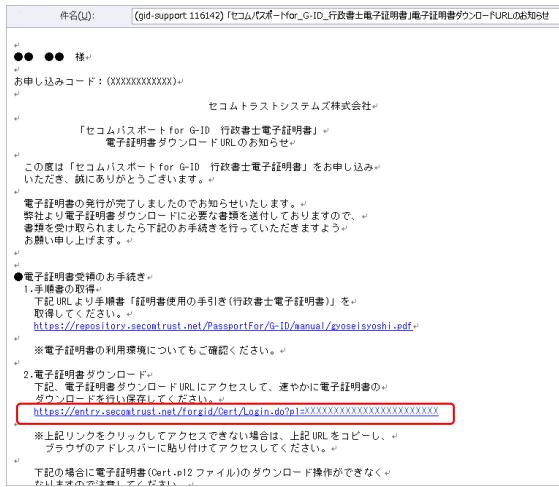
【ご注意ください】

- 電子申請をされる際は、証明書以外にも各省庁が定めるソフト等のご用意が必要になります。ベンダー各社が提供する電子申請ソフト、PDF署名プラグインソフト、PDFソフトの操作手順の詳細については、ベンダー各社へご確認ください。

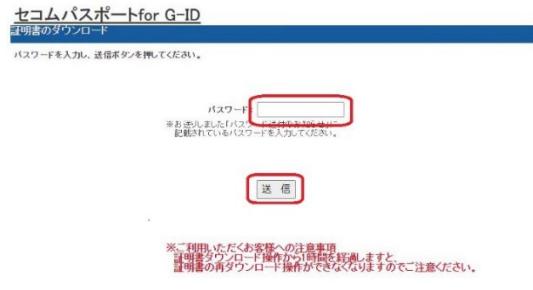
4 証明書のダウンロード

この章では、お客様の証明書をご利用のパソコンにダウンロードする手順について説明します。

4.1 証明書のダウンロードサイトへのアクセス



(1) 電子証明書ダウンロード URL のお知らせ(電子メール)を開き、「2. 電子証明書ダウンロード」に記載されている URL をクリックします。



(2) セコムパスポート for G-ID 証明書のダウンロードサイトへ接続されますので、「パスワード送付のお知らせ」に記載された 8 桁のパスワードを半角で「パスワード」欄に入力し、「送信」ボタンをクリックします。

【ご注意ください】

- ・ パスワードをご入力の際は、パスワードの下段に記載されている英字・数字・大文字・小文字の記述を確認して入力してください。
 - 間違えやすい文字
例: 英小「i」(アイ)、英大「I」(アイ)、英小「l」(エル)、数「1」、
英小「o」(オー)、英大「O」(オー)、数「0」(ゼロ)
- ・ 「パスワード送付のお知らせ」に記載された 8 桁のパスワードは、証明書のダウンロード時のみ使用するもので、電子申請時には使用できません。

4.2 証明書ファイルのダウンロード



- (1) 「ダウンロード」ボタンをクリックします。



- (2) 左記の画面が表示されたことを確認します。

【ご注意ください】

- 「ダウンロード」ボタンクリックから 1 時間が経過すると、証明書はサーバーから削除され、再度証明書をダウンロードすることができなくなります。必ず証明書が保存されていることを確認してください。



- (3) エクスプローラーを開き、ダウンロードフォルダー内に証明書（「cert.p12」）が保存されていることを確認し、証明書のダウンロードサイトの画面を「×」ボタンで閉じます。



ダウンロードした場所がわからなくなったら場合は、「スタート」メニュー、「検索」をクリックしていただき、「.p12」と入力し、証明書の保存先フォルダーをご確認ください。

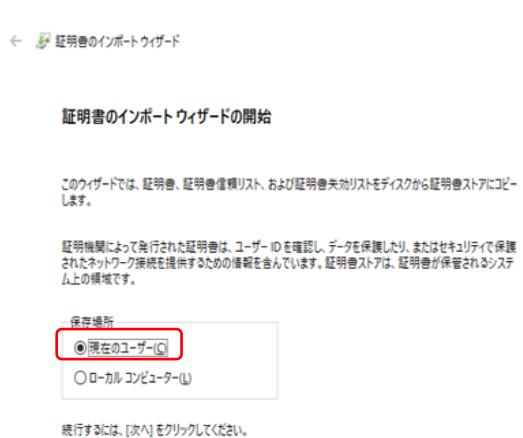
5 証明書のインポート

この章では、お客様の証明書と本サービスのルート証明書を Windows 証明書ストアにインポートして証明書情報を確認する手順について説明します。

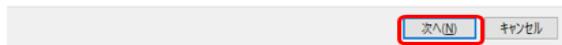
5.1 証明書インポートウィザードの開始

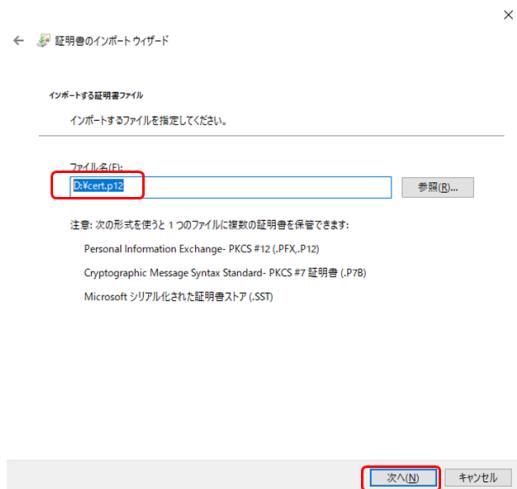


- (1) ダウンロードフォルダー内に保存されている「cert.p12」をダブルクリックします。



- (2) 「証明書のインポートウィザードの開始」画面内の保存場所に「現在のユーザー(C)」、「ローカルコンピューター(L)」が表示されますので、「現在のユーザー(C)」を選択して、「次へ(N)」ボタンをクリックします。





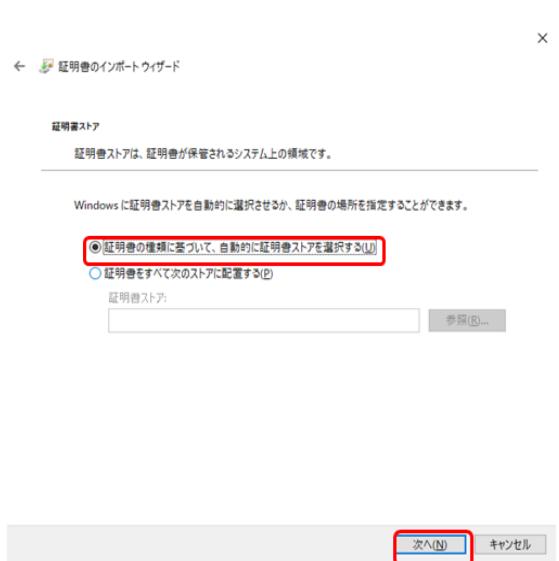
(3) 「インポートする証明書ファイル」画面が表示されますので、「ファイル名(F):」欄に本書「4 証明書のダウンロード」でダウンロードした「cert.p12」のファイル名が表示されていることを確認し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



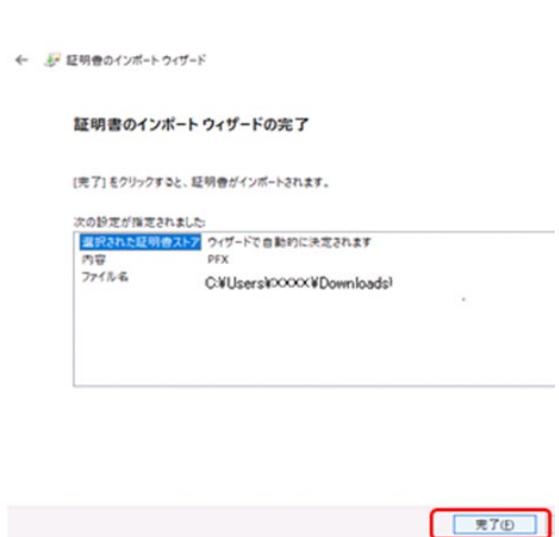
(4) 「パスワード」画面が表示されますので、「PIN コード送付のお知らせ」に記載されている PIN コードを半角で「パスワード(P):」欄に入力します。入力後、「秘密キーの保護を強力にする(E)」、「このキーをエクスポート可能にする(M)」、「すべての拡張プロパティを含める(A)」の 3 つの項目に必ずチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンをクリックします。

【ご注意ください】

- PIN コードご入力の際は、PIN コードの下段に記載されている英字・数字・大文字・小文字の記述を確認して入力してください。
- 間違えやすい文字
例: 英小「i」(アイ)、英大「I」(アイ)、英小「l」(エル)、数「1」、
英小「o」(オー)、英大「O」(オー)、数「0」(ゼロ)



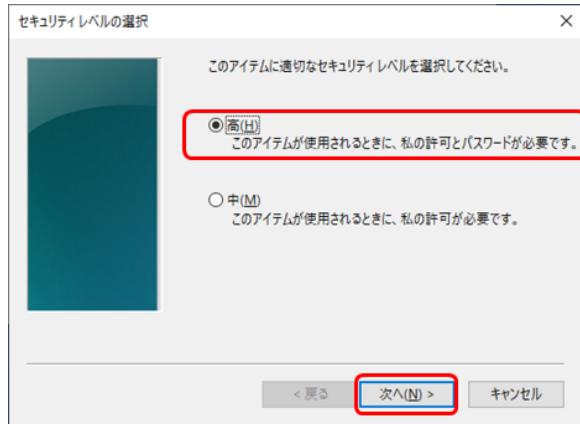
- (5) 「証明書ストア」画面が表示されますので、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)」が選択されていることを確認し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



- (6) 「証明書のインポート ウィザード の完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



- (7) 「新しい秘密交換キーをインポートします」画面が表示されますので、「セキュリティ レベルの設定(S)...」ボタンをクリックします。



- (8) 「セキュリティ レベルの選択」画面が表示されますので、セキュリティ レベル「高(H)」を選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



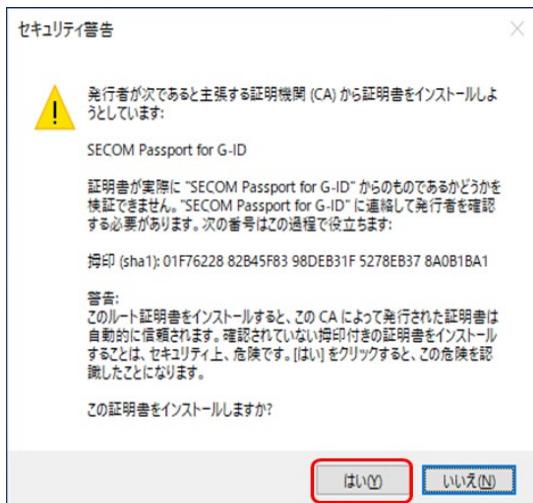
- (9) 「パスワードの作成」画面が表示されますので、「PIN コード送付のお知らせ」に記載されている PIN コードを半角で「パスワード」、「確認入力」欄に入力し、「完了(F)」ボタンをクリックします。

【ご注意ください】

- PIN コードご入力の際は、PIN コードの下段に記載されている英字・数字・大文字・小文字の記述を確認して入力してください。
 - 間違えやすい文字
例: 英小「i」(アイ)、英大「I」(アイ)、英小「l」(エル)、数「1」、
英小「o」(オー)、英大「O」(オー)、数「0」(ゼロ)
- ご利用環境によっては、PIN コードが OS のパスワード最小要件を満たさない場合がございます。OS の要件を満たす長さ、文字を入力してください。ご不明な場合はご利用環境の管理者にお問い合わせください。



- (10) 「新しい秘密交換キーをインポートします」画面に戻りますので、「OK」ボタンをクリックします。



- (11) お客様の証明書と本サービスのルート証明書をインポートします。「セキュリティ警告」画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックします。

※ルート証明書のインポートはお客様の証明書の署名検証に必要となります。

【ご注意ください】

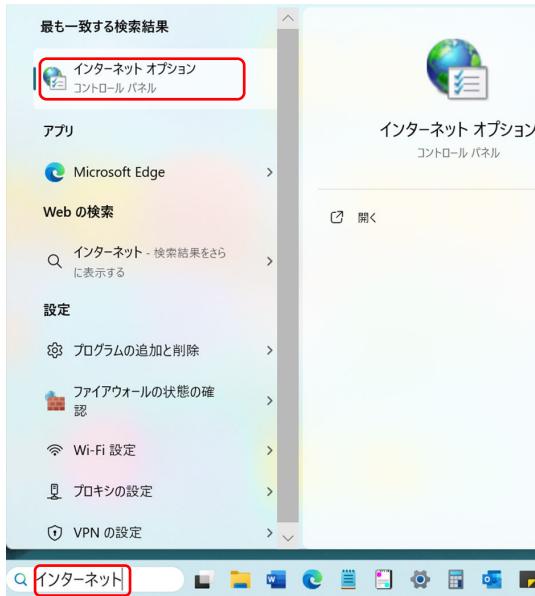
- 上記(11)の画面が表示されない場合は、すでにルート証明書がインポートされていますので、この作業は必要ありません。

※ 「いいえ」を選択した場合は、本書「5 証明書のインポート」から再度実施してください。



- (12) 「正しくインポートされました。」画面が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
以上で証明書のインポートは終了です。

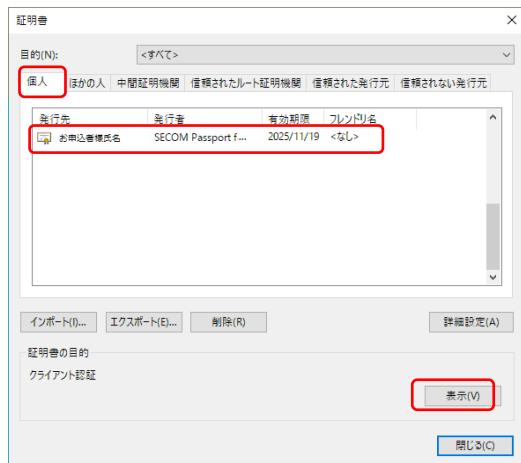
5.2 証明書の情報確認



(1) コンピュータ内の検索ツールで「インターネット」と検索し、検索結果に表示される「インターネット オプション」をクリックし起動します。



(2) 「インターネットのプロパティ」画面が表示されますので、[コンテンツ]タブを選択し、その中の「証明書(C)」ボタンをクリックします。



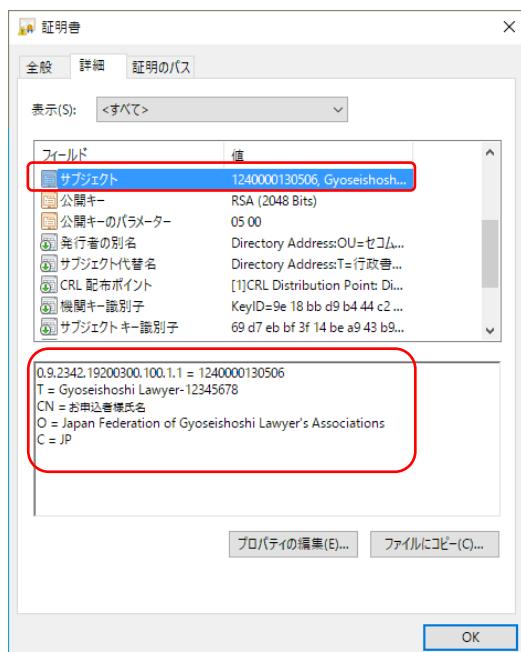
(3) 「証明書」画面が表示されますので、[個人]タブの中に表示されている証明書の内、先ほどインポートした証明書を選択し、「表示(V)」ボタンをクリックします。



(4) [全般]タブの内容確認

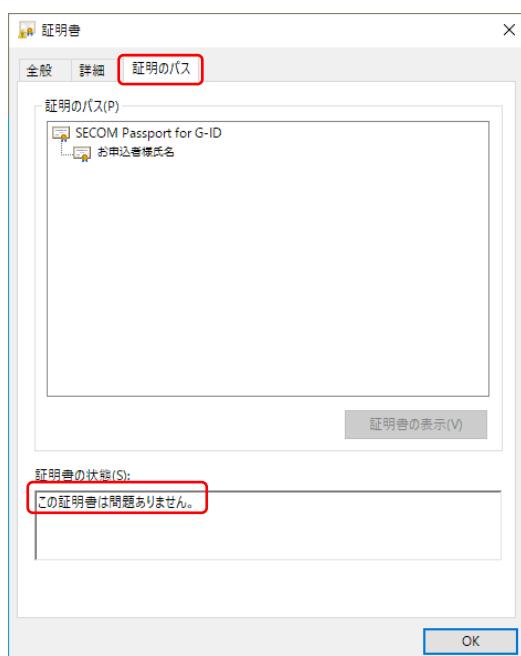
[全般]タブの内容を以下の項目毎にご確認ください。

- ・「発行先」
お申込者様氏名
- ・「発行者」
SECOM Passport for G-ID
- ・「有効期間」
有効期間内であること



(5) [詳細]タブの内容確認

[詳細]タブを選択し、フィールドから「サブジェクト」をクリックします。
 画面下部のボックス内に登録されたお客様情報が表示されます。
 記載されている内容が、申請した情報と相違ないかご確認ください。

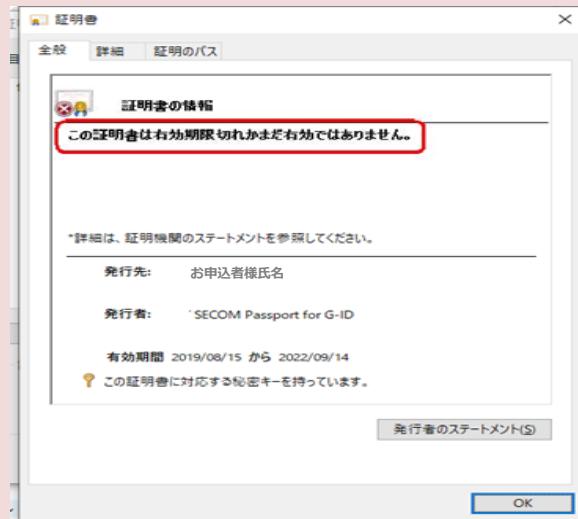


(6) [証明のパス]タブの内容確認

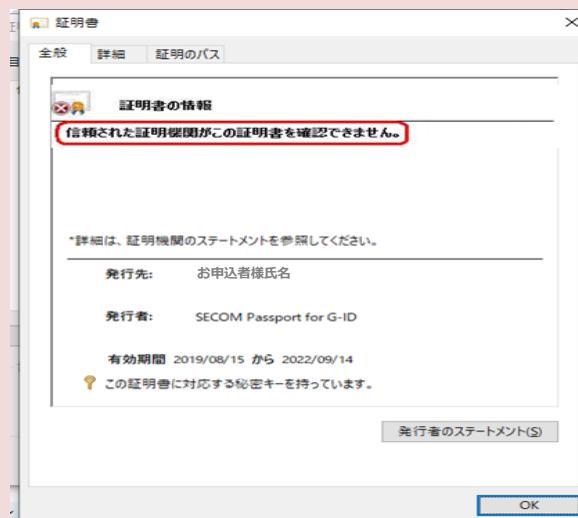
[証明のパス]タブを選択し、証明書の有効性を確認します。
 「証明書の状態(S)」欄に証明書の状態が表示されます。
 「この証明書は問題ありません。」と表示されていれば証明書は有効な状態となります。



【[全般]タブにエラーメッセージが表示される場合は、以下をご確認ください】



証明書が有効でない場合は、左記の画面が表示されます。この状態の場合は、ご利用のパソコンの日付と時刻の設定が正しく設定されていることをご確認ください。
※日付と時刻の設定が正しい場合でも左記の画面が表示される場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(詳細は本書「8 サポートセンター」を参照)



ルート証明書が正しくインポートされていない場合は、左記メッセージが表示されます。再度、本書「5 証明書のインポート」から操作を行ってください。

※本書のとおりに操作しても問題が解消されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(「8 サポートセンター」を参照)

6 受領書の送付

本書「5.2 証明書の情報確認」で証明書の内容確認を実施した後、利用申込書に使用した印と同じ印を押印のうえ、「受領書」を「受領書送付期限日」までに、弊社サポートセンター宛に郵送してください。

「受領書」の郵送には「受領書」と一緒にお送りする返信用封筒をご利用ください。

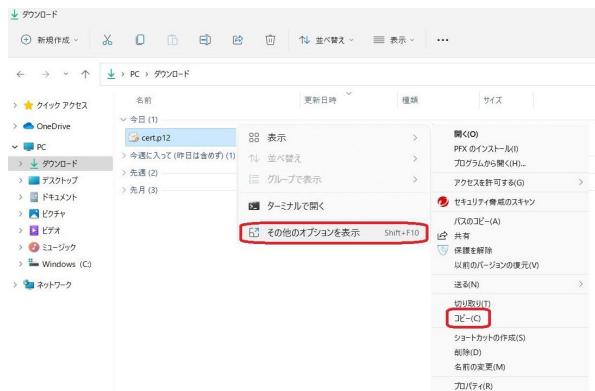
【送付先】	名称：セコムトラストシステムズ株式会社 CA サポートセンター 住所：〒181-8528 東京都三鷹市下連雀 8-10-16 セコム SC センター
-------	--

次に、「7 証明書のバックアップ」を実施してください。

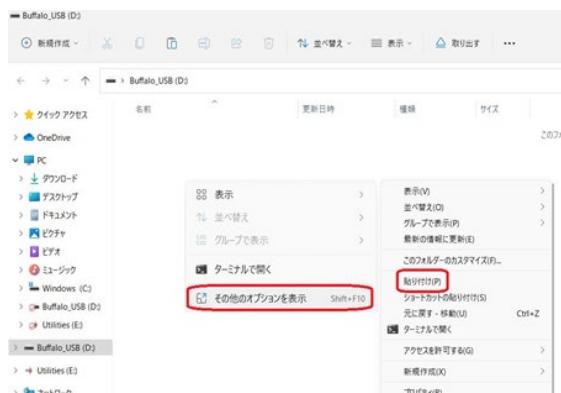
7 証明書のバックアップ

この章では、USB メモリーに本書「4 証明書のダウンロード」でダウンロードした「cert.p12」をバックアップする手順について説明します。証明書は、USB メモリー以外の CD-R 等の外部記録媒体にも保存可能です。保存可能な外部記録媒体をご用意ください。バックアップを行った証明書は、以下の場合に利用できます。

- ・パソコンが破損して再度証明書をインポートする場合
- ・証明書を複数のパソコンで利用したい場合
- ・別パソコンに買い換えた場合



(1) ダウンロードフォルダー内に保存した証明書ファイルを右クリックし、続いて、「その他のオプションを表示」、「コピー(C)」をクリックします。



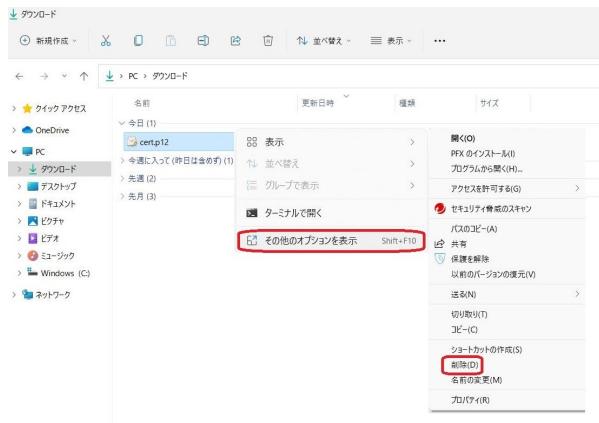
(2) 外部媒体をパソコンに接続し、認識されたドライブを開いて右クリックし、続いて、「その他のオプションを表示」、「貼り付け(P)」をクリックします。

(左図は、USB メモリーを接続した例)

また、「cert.p12」ファイルを直接読み取る手続きが必要な場合は、パソコン上の覚えやすいフォルダーにコピーするか申請用の USB メモリーで(1)のファイルコピーから行ってください。



(3) バックアップを行った証明書および「PIN コード送付のお知らせ」は厳重に管理してください。



(4) バックアップが確実に実施されたことを確認し、本書「4.2 証明書ファイルのダウンロード」でダウンロードフォルダー内に保存した「cert.p12」を右クリックします。続いて、「その他のオプションを表示」、「削除(D)」をクリックします。

【ご注意ください】

- 申請の際に証明書ファイルが必要な場合は、申請用とバックアップ用の2つのUSBメモリをご利用ください。
- 証明書および「PINコード送付のお知らせ」はお客様の責任において厳重に管理してください。証明書の情報がお客様以外の第三者に知られてしまうと、お客様の証明書が不正に使用される恐れがありますので取り扱いには十分ご注意ください。
- 証明書を紛失した場合、もしくはお客様以外の第三者に知られた可能性がある場合は、すみやかに弊社サポートセンター（「8 サポートセンター」参照）までご連絡ください。



バックアップした証明書を他のパソコンで利用する場合は、本書「5 証明書のインポート」より実施してください。

次に、ご利用になりたい各省庁の設定マニュアルに従って、電子申請を実施してください。

申請先システムの設定手順や申請に必要なソフトの購入等に関するお問い合わせにつきましては、申請先のサポートデスク・ソフト提供元へお問い合わせください。

8 サポートセンター

本サービスのお問い合わせにつきましては、弊社サポートセンターの以下連絡先までご連絡ください。

【セコムトラストシステムズ株式会社 CA サポートセンター】

〒181-8528 東京都三鷹市下連雀 8-10-16 セコム SC センター

受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00(土日・祝日および年末年始を除く)

TEL:0570-020-213

※ナビダイヤルへ発信できない電話をご利用の場合、050-3786-2782 または、
E-mail をご利用ください。

電子メールアドレス : gid-support@secom.co.jp

お問い合わせの際のお願い

サポートセンターへのお問い合わせの際には、以下の項目についてお知らせください。

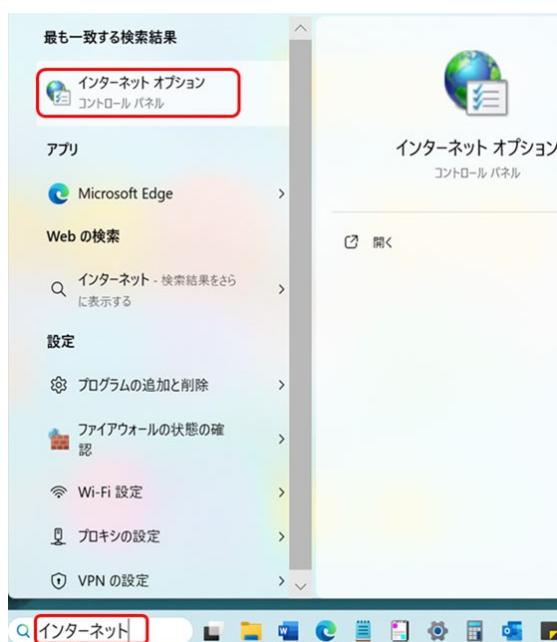
- ① お申込者様氏名
- ② 弊社サービス名(セコムパスポート for G-ID)
- ③ 契約番号(お申し込みコード)
- ④ 取得された証明書の種類(行政書士電子証明書)
- ⑤ ご利用されているパソコン(OS、ブラウザ)のバージョン
- ⑥ 表示されたエラーや警告のメッセージ

※ 申請先システムの設定手順や操作、署名の設定やソフトの購入手順等に関するお問い合わせにつきましては、弊社でお答えすることはできません。申請先のサポートセンター・ソフト提供先へお問い合わせください。

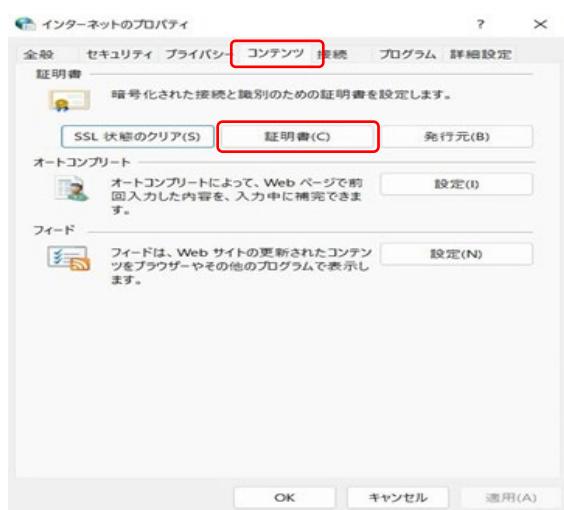
9 【付録 1】証明書の PIN コード(パスワード)を変更したい場合

この章では、本書「5.1 証明書インポートウィザードの開始」で入力した「PIN コード送付のお知らせ」に記載されている PIN コードを変更する手順について説明します。
 ※付録に記載の操作につきましては、必要に応じて実施してください。

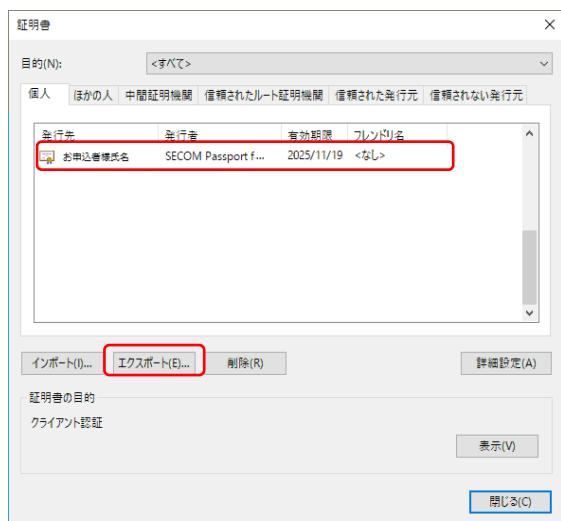
9.1 証明書のエクスポート



(1) コンピュータ内の検索ツールで「インターネット」と検索し、検索結果に表示される「インターネット オプション」をクリックし起動します。



(2) インターネットのプロパティ画面が表示されますので、[コンテンツ]タブを選択し、その中の「証明書(C)」ボタンをクリックします。



(3) 「証明書」画面が表示されますので、[個人]タブの中に表示されている証明書の内、先ほどインポートした証明書を選択し、「エクスポート(E)」ボタンをクリックします。



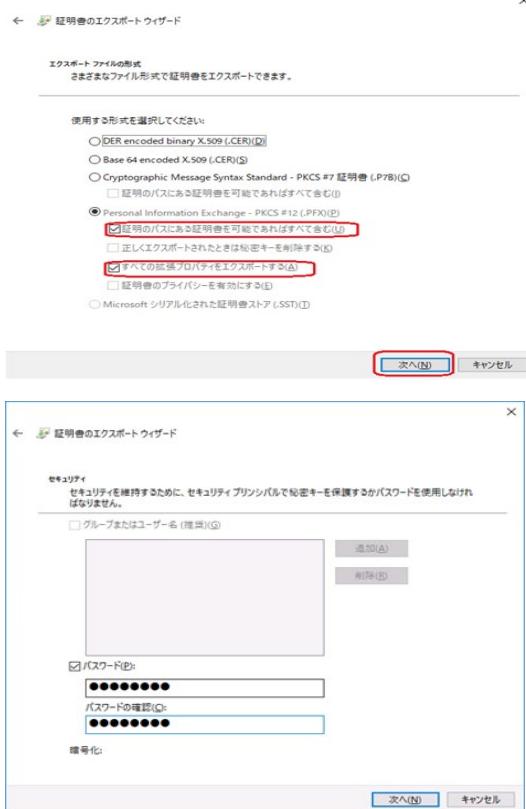
(4) 「証明書のエクスポート ウィザードの開始」画面が表示されますので、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



(5) 「秘密キーのエクスポート」画面が表示されますので、「はい、秘密キーをエクスポートします(Y)」にチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



「[はい、秘密キーをエクスポートします(Y)]」にチェックが付けられない場合は、証明書のインポート操作が失敗している為、本書「7 証明書のバックアップ」でバックアップした証明書を用いて、本書「5 証明書のインポート」より再度操作をしてください。



(6) 「エクスポートファイルの形式」画面が表示されますので、「証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(U)」、「すべての拡張プロパティをエクスポートする(A)」の 2 つの項目にチェックを入れて「次へ(N)」ボタンをクリックします。

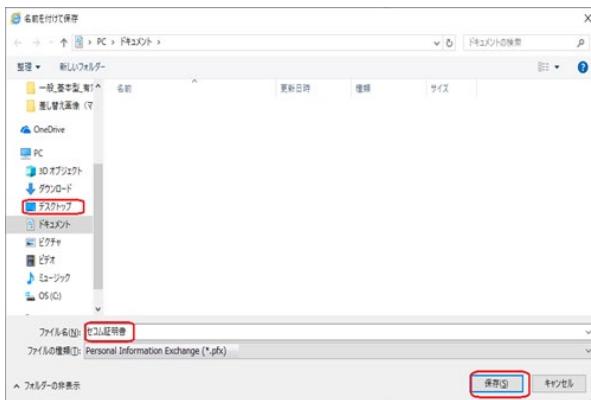
(7) 「パスワード」画面が表示されますので、パスワード(P)にチェックを入れて、変更したい「任意のパスワード」を半角で「パスワード(P)」、「パスワードの確認(C)」欄に入力し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。

【ご注意ください】

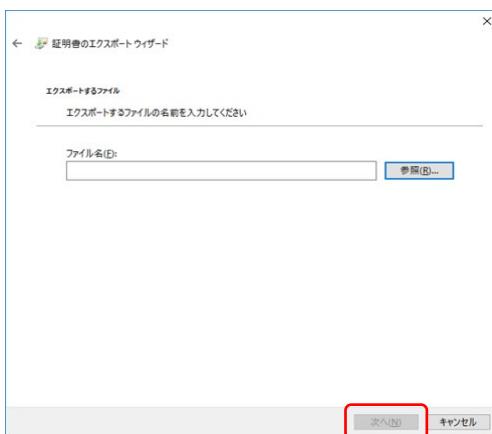
- 変更される PIN コードは、名前や辞書に載っているような推測されやすい単語は避け、英字(大文字、小文字)・数字・記号をすべて組み合わせた 8 文字以上に設定することを推奨しております。
- この PIN コードは、今後お客様が使用する各種アプリケーションソフトで証明書を使用する際、入力を求められるようになります。お忘れにならないようご注意ください。(弊社でお調べすることはできません)



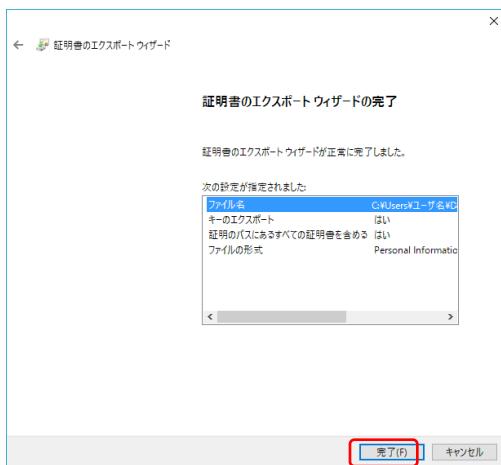
(8) 「エクスポートするファイル」画面が表示されますので、「参照(R)...」ボタンをクリックします。



(9) エクスポートする証明書の保存場所を「デスクトップ」に指定し、ファイル名(N)欄に「セコム証明書」と入力します。続いて、「保存(S)」ボタンをクリックします。



(10) 「エクスポートするファイル」画面が表示されますので、「ファイル名(F)...」の欄に指定したフォルダーおよびファイル名が表示されていることを確認し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



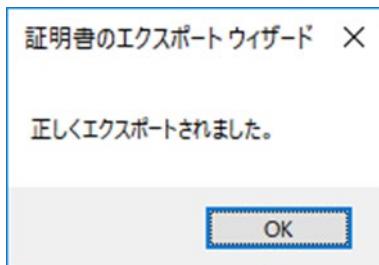
- (11) 「証明書のエクスポート ウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



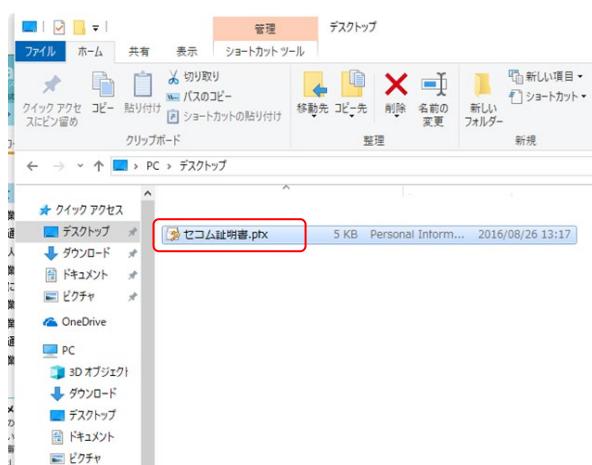
- (12) 「秘密交換キーをエクスポートします」画面が表示されますので、「PIN コード送付のお知らせ」に記載されている PIN コードを半角で「パスワード(P)」欄に入力し、「OK」ボタンをクリックします。

【ご注意ください】

- PIN コードご入力の際は、PIN コードの下段に記載されている英字・数字・大文字・小文字の記述を確認して入力してください。
●間違えやすい文字
例: 英小「i」(アイ)、英大「I」(アイ)、英小「l」(エル)、数「1」、
英小「o」(オー)、英大「O」(オー)、数「0」(ゼロ)

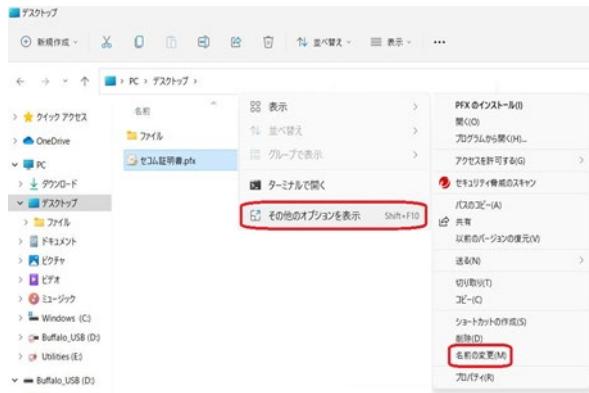


- (13) 「正しくエクスポートされました。」画面が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
以上で証明書のエクスポートは終了です。

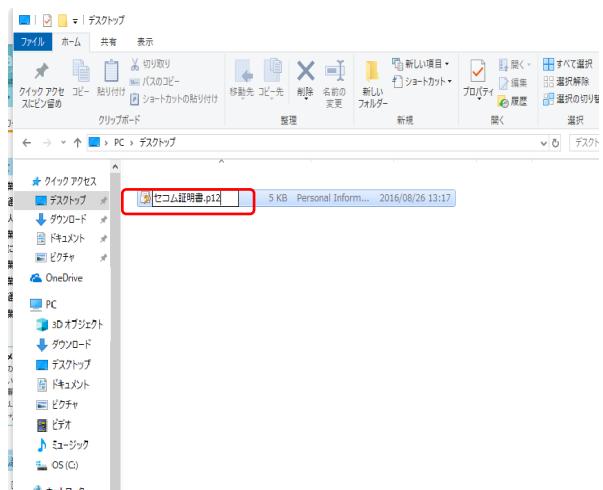


- (14) エクスポートした証明書がデスクトップに保存されていることを確認してください。

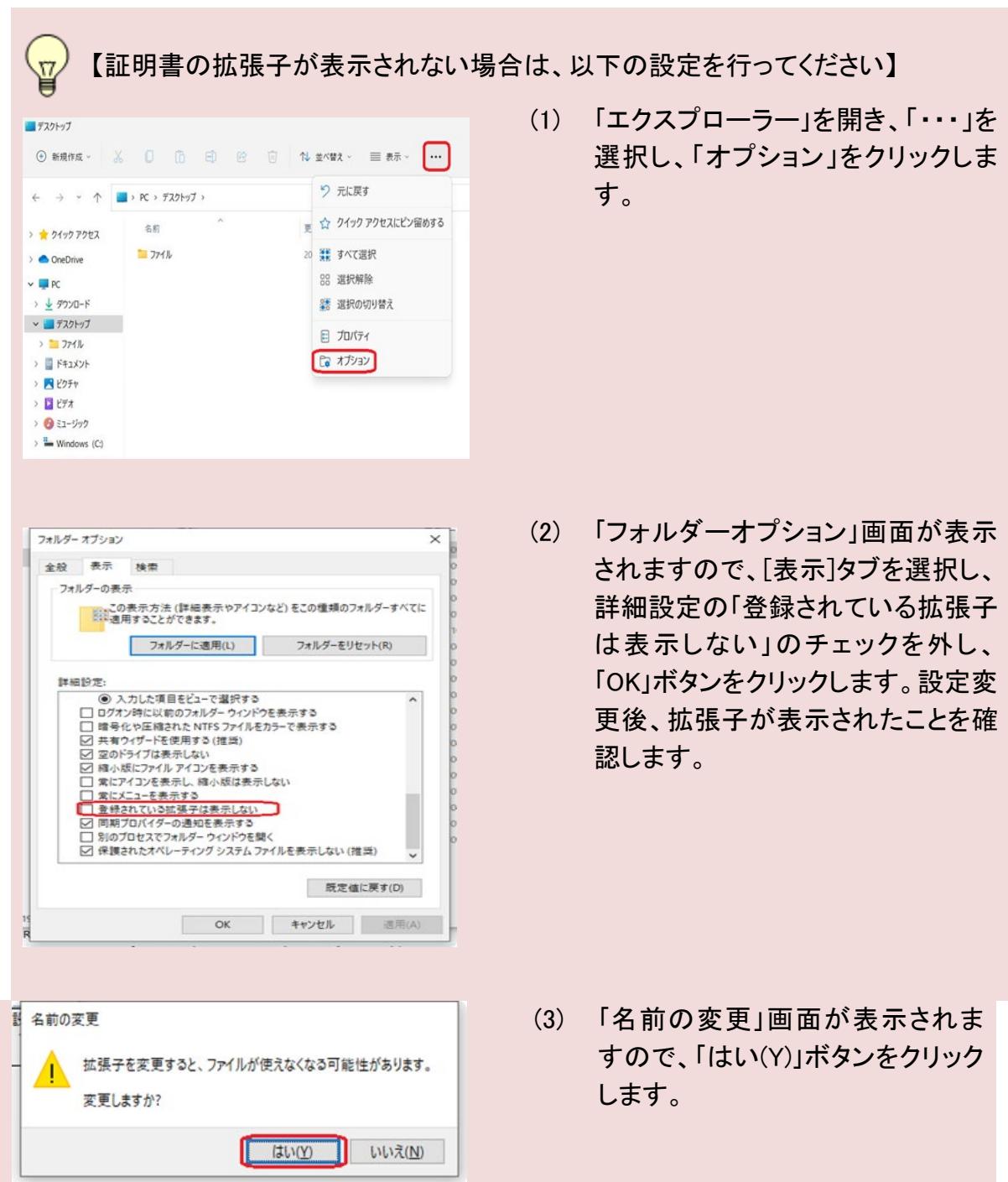
9.2 拡張子の変更

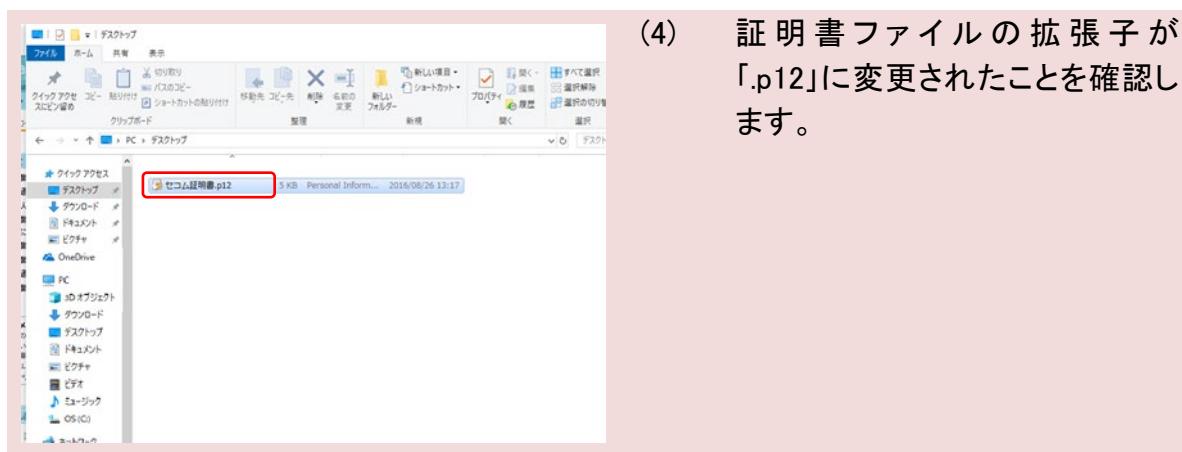


- (1) 「セコム証明書.pfx」を選択し、右クリックをし、続いて、「その他のオプションを表示」、「名前の変更(M)」をクリックします。



- (2) 証明書ファイル名の拡張子である「.pfx」を削除して、「.p12」と入力します。





(4) 証明書ファイルの拡張子が「.p12」に変更されたことを確認します。

【ご注意ください】

- 今後、電子申請等の署名操作において、証明書ファイルを選択する場合は、本書「9.1 証明書のエクスポート」でエクスポートした証明書を選択してください。
- パスワードの入力を要求された場合は、本書「9.1 証明書のエクスポート」で設定した任意のパスワードを入力してください。

9.3 証明書のインポート

続いて証明書のインポートを行います。



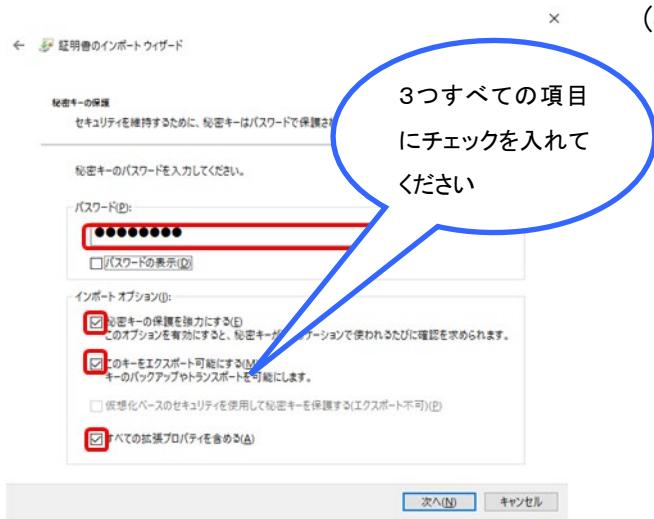
- (1) デスクトップに保存した「セコム証明書.p12」をダブルクリックします。



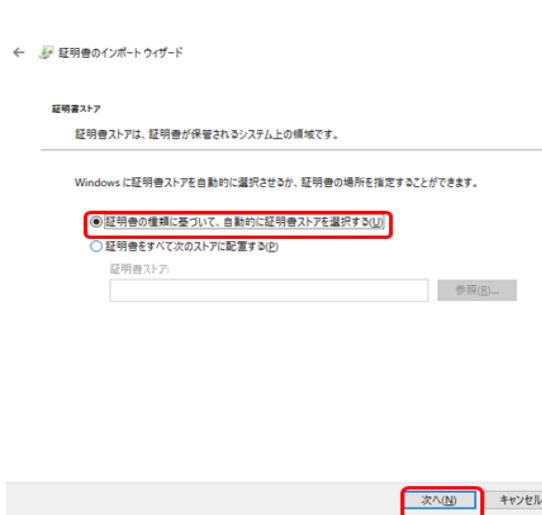
- (2) 「証明書のインポートウィザードの開始」画面内の保存場所に「現在のユーザー(C)」、「ローカルコンピューター(L)」が表示されますので、「現在のユーザー(C)」を指定して、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



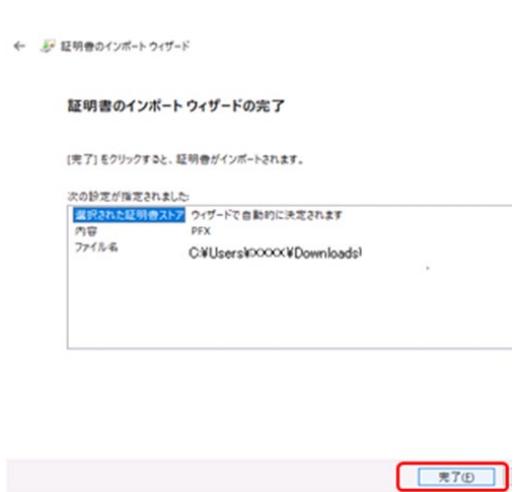
- (3) 「インポートする証明書ファイル」画面が表示されますので、本書「9.1 証明書のエクスポート」で取得した「セコム証明書.p12」のファイル名が表示されていることを確認し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



(4) 「パスワード」画面が表示されますので、本書「9.1 証明書のエクスポート」で設定した任意のパスワードを「パスワード(P)」欄に入力してください。入力後、「秘密キーの保護を強力にする(E)」、「このキーをエクスポート可能にする(M)」、「すべての拡張プロパティを含める(A)」の3つの項目に必ずチェックを入れ、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



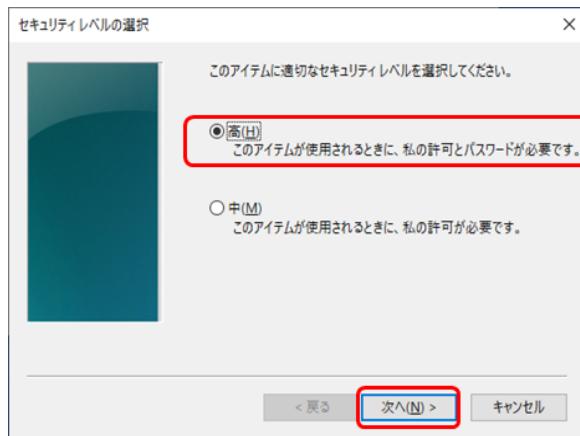
(5) 「証明書ストア」画面が表示されますので、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)」を選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



(6) 「証明書のインポート ウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



- (7) 「新しい秘密交換キーをインポートします」画面が表示されますので、「セキュリティ レベルの設定(S)」ボタンをクリックします。



- (8) 「セキュリティ レベルの選択」画面が表示されますので、セキュリティ レベル「高(H)」を選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



- (9) 「パスワードの作成」画面が表示されますので、本書「9.1 証明書のエクスポート」で設定した「任意のパスワード」を「パスワード」、「確認入力」欄に入力し、「完了(F)」ボタンをクリックします。



- (10) 「新しい秘密交換キーをインポートします」画面に戻りますので、「OK」ボタンをクリックします。



- (11) お客様の証明書を発行した「セコムパスポート for G-ID」のルート証明書をインポートします。「セキュリティ警告」画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックします。
※ルート証明書のインポートはお客様の証明書の署名検証に必要となります。

【ご注意ください】

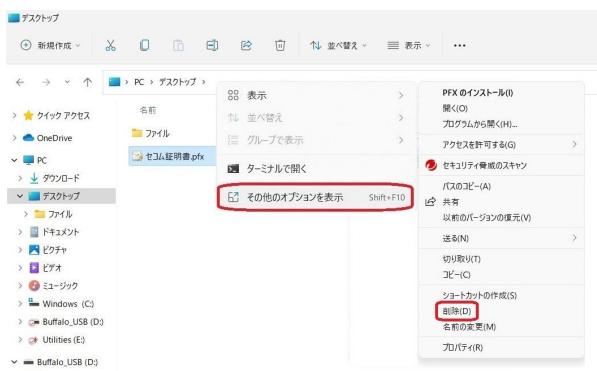
- 上記(11)の画面が表示されない場合は、すでにルート証明書がインポートされていますので、この作業は必要ありません。
- 「いいえ」を選択した場合は、本書「9.3 証明書のインポート」から再度実施してください。



(12) 「正しくインポートされました。」画面が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

以上でルート証明書のインポートは終了です。

※パスワードを変更した証明書のインポートが終了されましたが、バックアップデータとして証明書を USB メモリーに保存してください。証明書のバックアップ操作手順については、本書「7 証明書のバックアップ」をご確認ください。



(13) インポートおよびバックアップ作業が正常に終了したことを確認し、デスクトップ上にエクスポートした「セコム 証明書.p12」ファイルを右クリックします。続いて、「その他のオプションを表示」、「削除(D)」をクリックします。

以上で証明書の PIN コード変更は終了です。

※ 申請先システムの設定手順や操作、署名の設定やソフトの購入手順等に関するお問い合わせにつきましては、弊社でお答えすることはできません。申請先のサポートセンター・ソフト提供先へお問い合わせください。